

課題4-2-3 津波災害に備えて

<この指導の前に準備すること>

- 防災教材「クロスロード」を学習し、災害時における判断の大切さを体験しておく。
- 津波動画資料 「津波から生き延びるために知る・行動する」(DVD) 消防科学総合センター
http://www.fdma.go.jp/html/life/sinsai_taisaku/sinsai22_pv.html からダウンロード可
 ※または東日本大震災時の津波動画
- 紙芝居資料「津波だ！いなむらの火を消すな」をダウンロードし、印刷またはプロジェクターで投影できるようにしておく。

<授業展開例> (全学年実施)

第〇学年 学級活動学習指導案

1 題材名 いなむらの火

2 題材の目標

- (1) 津波災害の特徴から、自らも災害に備えようとすることができる。
- (2) 津波災害の特徴を理解し、命を守るための判断について考えることができる。

3 題材の評価

地域の一員としての自覚と責任をもち、根拠(理由)を示して自己の考えや思いを発表するとともに、互いの意見を尊重しながら考え、判断し、協力している。

4 本時の活動

- ・津波災害について理解し、災害に対し積極的に備えようとすることができる。

5 本時の展開

時配	学習内容・学習活動	支援(○), 留意点(●), 評価(☆)
導入 (10分)	1 5人組になり、防災ゲーム「クロスロード」を行い、災害時の判断の難しさを味わう。	・災害時、特に津波発生時に判断を迫られる場面のクロスロードカードも交え、災害時の判断の難しさに触れさせる。(●)
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 【クロスロードカード】 「あなたは海辺の集落の住民です。地震による津波が最短10分でくるとされる集落に住んでいます。今地震発生しました。早速避難を始めるが、近所の一人暮らしのおばあさんが気になります。まず、おばあさんを見に行きますか？」 </div>	
展開 (25分)	2 津波災害による被災の様子を収録した動画を視聴し、津波による災害の特徴に気付く。 ・津波の速度は速い。 ・陸地近くで波の高さが高くなる。 ・津波はかなりの高さまで駆け上がる。 ・長時間続く、押し波と引き波がある。	・DVD「津波から生き延びるために知る・行動する」の導入部または、東日本大震災時の津波動画を視聴させ、感想を話し合う。(●)
	3 教材「いなむらの火」の教材の概要を知り、場面①～③を音読し、自分ならどう判断し、行動するか考える。	・主人公「儀兵衛」のモデルとなった浜口梧陵(儀兵衛)は、銚子市とゆかりのある人物であることを知らせる。

・地震の様子から津波がくることを知ったこと、このままにはしておけないと判断したことを確認する。

学習課題 津波が来た時どう判断し行動すればよいのだろう。(自助・共助)

自分が「儀兵衛」だったらこの後、
 どういう行動をとるか考え、グループ
 で話し合う。

4 場面④～⑩を音読し、「儀兵衛」の判
 断・行動について考える。

「3」と同グループで、なぜ(何の
 ために)火をつけたのか、話し合いグ
 ループの意見をまとめ発表し合う。

- ・大きい音を出せないで、村人を避難させるために火をつけた。
- ・宵祭りの支度に心を取られている村人に気付かせるためには、大切な稲束を燃やしても仕方がないと考えた。
- ・判断に迷いがなく、儀兵衛は津波のことをよく知っていたと思う。

意見発表の後、⑪～⑮を読み、津波後の様子を知る。

- ・導入で行った「クロスロード」を想起させ、災害時の判断の重要性を確認し、自分の考えをワークシートに記入させる。(●)
- ・津波が来ることに気付いた場面について、自分の考えをもち、根拠をもとに相手に伝えることができたか。(☆)

・大切な稲束ではあるが、津波の速さを考えさせるとともに、村の人の命を守るために今できる最善の方法であると判断したことに気付かせる。

・自助・共助の視点に着目して考えることができたか。(☆)

まとめ
 (15分)

5 津波の時にとるべき行動について考
 える。

- ・津波は速度が速いので、地震が発生したら早く逃げる。
- ・陸地に来ると波が高くなるので、高い所に逃げる。

・導入時の動画資料やいなむらの火の教材から津波発生時にとるべき行動を考えさせる。

6 釜石市の防災教育「避難三原則」と
 自分の住まい等の海拔を調べ、取るべ
 き行動を再度考える。

- ・ 想定にとられるな
- ・ 最善を尽くせ
- ・ 率先し避難せよ

・東日本大震災における釜石市の事例をもとに「避難三原則」の意味を理解させるとともに、自宅や学校等の海拔から、再度津波の際にとるべき行動を考えさせる。

7 学習の振り返りをする。

・津波発生時の判断について考え、話し合うことができたか。(☆)